

## 学校を応援！ ～地域で育む子どもたちの主体性～

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	東中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:50人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・第1回(4月25日)  
CS立ち上げ2年目。昨年度の熟議、具現化した取り組みの共有と今年度の取組に向けての意見交流。地域学校協働本部との一体化、子どもが主体であるために「どんな学校にしたいか」の熟議。
- ・第2回(6月19日)  
東中ブロックの「目指す生徒像」の共有、子どもたちの活躍の場の提供について。
- ・第3回(11月10日)  
PTAとの連携、各地域行事における中学生ボランティアの参加状況。地域とのつながりを深めるための手立て、自己決定の場の提供について。
- ・第4回(2月13日予定)  
CS2年目の総括、学校評価書の総括、3年目に向けて。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①夏の環境整備作業…地域、保護者、生徒、教職員による協働活動(除草作業)
- ②読み聞かせ(朝読書)…地域ボランティアによる活動(年3回全学級にて実施)
- ③図書室の新刊整理…読書活動支援員と地域・保護者ボランティアによる作業
- ④2年生校外学習引率支援…班別活動、施設見学の際の安全見守り
- ⑤未来塾の準備・運営・片付け…活動場所の準備や地域ボランティアと学校・生徒とのスケジュール調整
- ⑥特別支援学級の野外活動支援…活動場所(彦根プレーパーク)の提供と活動(火起こし、焼き芋、自然体験)支援
- ⑦「応援&おしゃべりDAY」の設定(毎月第3木曜日)…地域ボランティアによる校舎内・周辺環境整備作業等
- ⑧校内研究会のバックアップ…校内研究における講師の招致、当日の参加・講師紹介、講演会の案内等



【「応援&おしゃべりDAY」チラシ】

### ■ 事業の成果・展望

教職員の負担軽減を念頭に、地域学校協働活動推進員が動いてくださり、学校として助かる場面が多かった。その一方で、清掃センターの予約や搬出など、どうしても学校が仲介せざるを得ない業務もあり、学校行事等との調整が難しいこともあった。

今年度の10月から設定いただいた「応援&おしゃべりDAY」では、チラシやtetoru配信の内容も地域学校協働活動推進員が考えてくださり、校舎内外の環境整備等を進めていただいた。まだ始まったばかりの取組ではあるが、今後、保護者の参加を増やすための工夫や内容を検討し、持続可能な取組として定着させたい。

校内研究会では、地域学校協働活動推進員の紹介により講師を招き、本校の研究テーマ「学びを支える効果的なICTの活用」に沿った講義・演習を実施した。当日までの日程調整や他の講演会情報の共有などもしていただき、教職員の学びにつながる貴重な機会となった。

今後は、地域学校協働活動推進員との連携をさらに強化し、学校と地域が一体となって教育活動を支える仕組みを構築していきたい。



【校内研究での講師紹介】

### ■ その他

活動の様子は学校ホームページに掲載。

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/higashi-jh-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(担任・学年主任・地域連携担当教職員・読書活動支援員)

報告書記入者(教頭)

## 「城東ちょこっとボランティア」さんとともに創る城東っ子の主体的な学び

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	城東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:75人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・今年度は、第2回の学校運営協議会を夏季休業中に開催し、全教職員が参加した。そして、3つのグループに分かれて、日頃の学校や地域での子どもの様子等を情報交換した。また、教職員からボランティア等で協力してもらいたいことや2学期以降にしようと考えている活動について共有した。教職員は、地域で子どもが挨拶をしていること等を聞いて、学校での取組の成果を実感したり、逆に気になる点について聞くことで、2学期以降の指導に生かしたりすることができた。

・地域のサマースクールで、どんなイベントをするか話し合う際、今までと違い自分たちで準備会を計画したり、具材等も自分たちで話し合っ決めてたりと積極的に活動していた。子どもたちの意欲を大切に学習が活かされていると感じた、という話を地域の委員の方から聞いた。

・「放課後の地域での過ごし方が心配だ。」という声を聞いた。放課後、子どもたちが安全に過ごせる場所が少ないことや、SNSを使ったトラブル、コンビニ等への出入りやお金の使い方等、気になる行動を地域でも、学校でも把握することがあった。お互いに気になることがあれば共有していきたいと話した。



【 ミシンボランティアによる支援 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・2、3年の生活科、総合的な学習の時間、社会科等の町探検
- ・4年生のやまのこ学習でのサポート(ウォークラリー、焼杉)
- ・新体力テストの補助
- ・高学年家庭科の学習サポート(ミシン、調理実習)
- ・お話ブーケによる読み聞かせ
- ・図書ボランティアによる図書室の整備
- ・特別支援学級の校外学習サポート(いもほり、苗の買い物等)

### ■ 事業の成果・展望

・毎年、それぞれの学年で行う学習において、担任は変わっても内容が同じだと、地域学校協働活動推進員から声をかけてくださったり、同じ内容でも新しい人材やお店を探してくださったりして、安定して同じ学習を進めることができている。特に、本校に初めて赴任した教職員にとっては、地域のことがわからないので、地域学校協働活動推進員を通じて安心して地域の人とつながることができる。

・スクールガードや読み聞かせ等、様々な場面で子どもと関わってくださることで、子どもたちも安心して学校生活を送れるだけでなく、地域でも知っている大人が多いことで「見守ってくださっている」という安心感やあいさつをする等、あたたかい関わりができるようになってきている。登下校の際に、子どもから「ありがとうございます。」「お疲れ様です。」等と声をかけてくれることがあり、うれしかったという報告を受けた。また、保護者の方もボランティアの方の名前を知ってくださり、子どもを通じて、保護者にまでつながっていることを実感できた。



【 図書ボランティアによる季節の飾り 】

### ■ その他

- ・地域学校協働活動推進員が2名いてくださることで、仕事を分担していただけることはよいことだと思う。
- ・地域学校協働活動推進員と担当教職員だけがつながるのではなく、年に1回でも運営協議会に全教職員が参加することで、つながることができたことは良かった。
- ・学校に自分の子どもや孫が通っていないなくても、協力してくださる方が多く、たいへん心強い。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者 ( 教頭 )

## 学校と佐和山応援隊の双方向連携で、佐和山っ子の確かな育ちを

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	佐和山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：49人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他[ 長期休業前の印刷物の作成 ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

学校運営協議会では、地域学校協働活動においてそれぞれの立場で「できることをできるときに」というスタンスで取り組んでいくことを共通認識している。

#### 【熟議の内容】

- ・10年後の子どもたち、地域に対して望む姿
- ・こんな子どもたちであってほしい
- ・佐和山の子どもたちのいいところ～今年度の様々な取組から見えてきたこと～

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### ●家庭教育支援

不登校児童等の学習支援や保護者の相談、学校への登校支援や訪宅支援をしていただいている。また、登校はできるが教室に行きにくい児童にも関わっていただいております。校内 SSR で児童の学習支援、相談対応にあたっている。日々の情報共有に加え、学期に1、2回程度ケース会議を開催し、今後の方向性等を話し合いながら進めている。

#### ●1年生の朝の見守り

新1年生は、入学当初大きな期待と不安を背負って登校している。地域ボランティアの方に教室にいただき、朝の子どもたちの見守りをしていただいた。子どもたちは挨拶をしたり朝の出来事の話をしたりして、安心して1日のスタートを切ることができた。また、地域の方との関わりを持ち、ふれあう時間となった。

#### ●ミニ英語タイム

9月から1、2年生の各クラスにて、月1回、朝学習の時間に英語学習を行っていただいている。中学年からの外国語学習への前段階として、英語学習に取り組んでいる。

### ■ 事業の成果・展望

- ・本年度も地域学校協働活動推進員の発信により、支援内容に応じた『佐和山応援隊』を募集していただいた。保護者・地域の方48名の登録で、本年度の地域学校協働本部事業がスタートした。佐和山応援隊と地域学校協働活動推進員との連絡方法は、SNS等を使って連絡いただいている。そのおかげで、ボランティア募集等を円滑に進めていただいた。
- ・地域学校協働活動推進員は、週に1、2回程度来校して下さる。そこで地域連携担当者と情報交換している。事業を行う前には地域学校協働活動推進員や佐和山応援隊の方との事前打合せを丁寧に行い、学習のねらいを共有し、安全上の配慮事項や子どもへの対応の仕方等を理解していただくことで学習を充実させることができた。
- ・地域学校協働活動推進員には、子どもが学びたいと思ったことをもとに、迅速に地域人材や学べる場所等を探していただいた。また、子どもの学びの進捗状況に合わせた支援をしていただくことができた。それを実現できたのも、同じ方が長年継続して地域学校協働活動推進員をして下さり、各学年の学習内容を大まかに知ってくださっているからである。今後も、子ども主体で、学びたいことに合わせて支援を仰げるよう、つながりづくりや細かな情報共有を行い、大事に活動を進めていきたい。
- ・今後の課題としては、人材確保が挙げられる。佐和山応援隊を募集するにあたり、保護者への呼びかけは学校を通じてできるが、地域の方への呼びかけは地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員の人脈に頼る形となっているので、地域への呼びかけ方法を検討していく必要がある。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( 教務、学年主任 )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 地域と学校のつながりを生かし、学びの活性化と支援の充実を図る

彦根市	活動名：東中学校区地域学校協働本部	旭森小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成20年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:34人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)□地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

「旭森ボランティア」の設立と学校課題への具体的な対応

- ・不登校対策(SSRの活用等による居場所づくり) ・行き渋り対策 ・マーチングバンドの指導 ・登下校の見守り
- ・学習支援(総合的な学習の時間・家庭科・生活科・社会科) ・掃除の見守り(玄関・廊下) ・校外体験学習の引率補助

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○旭森小学校コミュニティ・スクールボランティア

今年度より、「旭森ボランティア」として、学校教育に地域の方や保護者等が参画していただく取組を始めた。コミュニティ・スクールでの熟議を受け、地域学校協働活動推進員やPTA会長を中心に、年度当初に以下の3つのボランティアの募集を行い、活動していただいた。

- ①学習支援隊(図書室支援、家庭科(ミシン)支援、校外学習引率補助 など)
- ②マーチングスタッフ(指導補助、楽器運搬、行事参加の見守り など)
- ③旭森応援隊(玄関・階段・トイレ掃除、休み時間の子どもの見守り など)

○学校図書ボランティア「すまいる」の活動

本校の図書ボランティアは、「すまいる」の愛称で活動をしている。今年度も「すまいる」として、クラス単位での読み聞かせを定期的に行った。

○子どもたちの心の活性化を図るゲストティーチャーの招聘

今年度も、多くの学年でゲストティーチャーを招いた教育活動に取り組んでいる。

- 1年生 国語科「文化の伝承、昔のものの紹介」、生活科「昔の遊び体験」、国語科「朗読教室」
- 3年生 社会科「彦根市で働く人々」「警察署の仕事」「消防団による自警」、音楽科「リコーダーの演奏指導」、総合的な学習の時間「地域の歴史」「昔の暮らしと今の暮らし」
- 4年生 総合的な学習の時間「福祉学習(福祉についての講話)(手話体験)(アイマスク体験)(認知症についての講話)(障害のある方へのサポート活動)(高齢者についての講話)」
- 5年生 社会科「自動車に関する出前授業」 総合的な学習の時間「統計の出前講座」
- 6年生 総合的な学習の時間「キャリア教育」「茶道体験」「マーチング指導と講和(旭森マーチングバンドの歴史)」



【 絵本の読み聞かせ 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・学校運営協議会では「旭森ボランティア」設立・運営に向けて保護者や地域の方が、学校課題に対して主体的に議論を深めてくださり、地域の児童への働きかけを考え、活動していただく多くの機会を生み出した。
- ・図書ボランティア「すまいる」の活動では、子どもたちが生で伝わる読み聞かせのよさを身をもって感じるようになった。学校図書館の本の整理にもご協力いただき、読書活動の充実の大きな支えとなっていただいている。
- ・ゲストティーチャーを招いた学習活動では、子どもたちは本物との出会いを通して心の活性化を図り、学びを深めることができた。今後も様々な分野の学習支援者を招聘していきたい。
- ・ミシン学習補助や校外体験学習の引率補助では、多くの支援者の見守りの中で子どもたちの安心を生み出すとともに、教職員の働き方改革にもつながった。



【 家庭科(ミシン補助)支援 】

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/asahinomori-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者( 主幹教諭 )

## 地域とともに「瞳輝く西中健児」を育てる取組

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	西中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人(兼務1人) ボランティア登録数:15 人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域と学校(子どもたち)とがつながる活動とその運営について
- ・子どもたちの思いを学校運営に反映するための学校運営協議会の持ち方



【 AED 講習会 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・学校が主体となって地域の諸団体の方と生徒代表による「中学生の地域貢献」に向けての意見交流を重視した。
- ・地域と子どもたちがつながる活動として、今年度も夏休みに「ラジオ体操の会」を開催した。あわせて生徒の発案による AED 講習会を実施し、いざという時に生徒や地域の方々協力しながら人命救助が行えるような実践を学んだ。
- ・地域の一人暮らしの高齢者のお宅へ訪問し、全校生徒制作の「クリスマスカード・ニューイヤーカード&ポスター」を届ける取組を、生徒と民生委員・児童委員が協力し、生徒会が主体となって行った。昨年までの活動によって地域の方からの要望を受け、「生徒の顔を思い浮かべながら育てる喜び」を味わってもらえるように「ヒマワリ」の種も一緒に届けた。
- ・地域の方々を講師として招き、3年生に茶道教室を開催した。
- ・スポーツ振興会、青少年育成協議会と連携し、イベントの役員やボランティアに生徒が参加し活躍した。

### ■ 事業の成果・展望

- ・地域の方とのふれあいを通して、地域への愛着や地域を誇りに思う気持ちを育むことができた。
- ・ラジオ体操や AED 講習会の取組では、広い年齢層の多くの方々が来校され、たくさんの笑顔が生まれる交流が図れた。西中学校区の明るい未来を感じさせる気持ちのよい時間となった。
- ・クリスマスカードやニューイヤーカード配布の取組が地域の方に受け入れられ、楽しみにされている高齢者は非常に多い。生徒が地域で活動する取組として根付いている。関わりを通じて生徒の高齢者理解も深まった。
- ・茶道教室では、自分が作った茶器と和菓子を準備し、地域の方のご指導をいただき、「和」の心について体験しながら学ぶ活動を行った。穏やかになれる環境や関わりを受け、受験生としてストレスの多い3年生にとって心が安らく時間となった。
- ・社会福祉協議会をはじめ、地域の諸団体と連携協働をすることにより、生徒の学習を深めることができた。

### ■ その他

- ・本校の活動に興味関心を持っていただいた県立大学の学生が次年度に向けて参観やボランティア参加をしたいとの声を聞いている。これらの取組から、つながりの輪が広がっていくことを期待している。



【「ラジオ体操の会」】

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(生徒会担当教職員)

報告書記入者(教頭)

## 地域に根ざした学校をめざして

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	城西小学校	学校運営協議会	：	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成21年度 地域学校協働活動推進員等数：2人(兼務1人) ボランティア登録数：50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]						

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域に愛着を感じ、地域を誇りに思う心を育成するために、「彦根かるた」を学習に取り入れる。
- ・学校と地域が協働することができるよう、学校と地域の関係諸団体が緊密に連携する。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・城西学区社会福祉協議会から「彦根かるた」を寄贈いただいた。
- ・地域について学ぶ社会科や総合的な学習の時間に「彦根かるた」を活用し、地域の歴史や文化にふれる学習を展開した。
- ・学校運営協議会委員と教職員が、合同で「地域に学ぶ」研修会を実施した。
- ・4年生が、総合的な学習の時間において彦根城をガイドするにあたり、地域の歴史に詳しい学区在住の方にガイド内容等を指導いただいた。
- ・5、6年生の家庭科でミシンを使う学習の時間に地域の方に来校いただき、ミシンの使い方等について支援いただいた。
- ・地域の関係団体と学校の環境委員会が連携し、「花いっぱい運動」に取り組んだ。プランターに花の苗を植え、地域にプランターを配布した。



【彦根城ちびっこガイド】

### ■ 事業の成果・展望

- ・児童が地域に足を運び、自分の目で確かめたり、地域の方と交流したりすることを通して、自身のふるさとでのよさを発見、再認識する機会となった。
- ・学校が地域と連携することにより、学校が地域における役割の一端を担うことにつながった。
- ・地域を活用した教育活動を展開するにあたり、教職員がさらに地域資源(歴史建造物・人材等)について理解を深める必要がある。
- ・今後も継続して活動を展開できるよう、学校の教育活動に協力いただける方を見つけていく必要がある。



【花いっぱい運動】

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/jyosei-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他( )

報告書記入者 ( 教頭 )

## 地域に学び、人・もの・自然への愛着心を育てる『城北のすてき見つけ隊！』

彦根市	活動名：西中学校区地域学校協働本部	城北小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:40 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学区のよさ(湖と山がある、歴史遺産や競技場(スタジアム)がある、高校や幼稚園と隣接している等)を生かした活動を充実させていきたい。
- ・学校の応援団として協議会の委員が普段の教育活動も参観する等して児童の様子を見守り、より適切な支援ができる体制づくりに努める。
- ・地域ボランティアの積極的な募集を行う等、人員の確保が必要である。



【 ふるさと探訪オリエンテーリング 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1) 学びを豊かにする学習支援

- ・地域の方をゲストティーチャーとして招聘し、体験活動の充実を図った。
- ※のぞみ学級や2年生「野菜の栽培・収穫」、3年生「セーリング体験」
- ・野菜の収穫祭に、お世話になった地域の方を招いて、一緒に調理したり、遊んだりして楽しむ機会を設定した。このことにより児童が地域の方をより身近に感じる事ができた。
- ・全校児童が参加する「ふるさと探訪オリエンテーリング」を地域の方々との協働による活動として実施することができた。11月に実施したことで、子どもも地域の方も暑さを気にすることなく活動できた。



【 3年生 セーリング体験 】

#### (2) 読書環境の整備(読み聞かせ活動・図書室の整備)

- ・毎週1回の読み聞かせ活動や月1回の図書室の整備(時節にあった飾りや本の紹介コーナーを工夫する等)を、地域と学校が連携して進めることができた。

#### (3) 学習環境の整備

- ・校地内の樹木の剪定や運動場の整備を協働で行った。

### ■ 事業の成果・展望

- ・市陸上記録会に向けて、近江高校生に指導補助をお願いしたり、地域の方に野菜栽培の協力をお願いしたりするなど、今年度新たなつながりを生み出すことができた。
- ・学習過程において、実際に地域の方から話を聞いたり、一緒に体験活動を行ったりすることで、児童の興味・関心が高まり、学びを深めることができた。また、地域の人とふれあうことで、地域で出会った際にあいさつする等、人とのつながりが生まれ、地域への愛着が育ってきている。地域の豊かな人材や教育力に学校教育が支えられていることを痛感した。
- ・地域の方々が支えてくださる活動について、全校放送などを通じて発信し、感謝の気持ちがもてるように努めている。
- ・地域ボランティアの高齢化等により、次年度の見通しが十分にもてない状況であることが課題であるが、地域の支えを学校教育に生かせるよう、より一層の連携を図って活動を行っていききたい。また、児童が、ボランティアの方々とともに活動したり、気軽に話したりする機会を可能な限り設定し、つながりを絶やさない努力を学校として行っていききたい。
- ・地域学校協働本部のリーダーや毎回参加いただいている方々の協力を得て、人材や安全の確保、指導内容の充実を図っていききたい。

### ■ その他

活動の様子は、本校のホームページに掲載。

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/jyohoku-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他( 学級担任 )

報告書記入者( 教頭 )

## 地域・公民館とともにある SCHOOL SUPPORT

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	中央中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：13人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

第3回と第5回の学校運営協議会では、「ゆるっとおしゃべり」と題して、学校運営協議会委員の他に生徒や保護者、地域の方にも参加を呼びかけ、学校生活の疑問や生徒会長が目指す学校について熟議し、地域学校協働活動の整理や工夫につなげることができた。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①PTA活動である体育大会前の学校清掃活動への協力を依頼し、全校生徒や保護者と一緒に、草刈り機等を使って除草作業を行っていただいた。
- ②校内の環境整備事業として、特別支援学級の生徒と一緒に正門前の剪定作業に取り組んでいただいた。
- ③地域の公民館に授業等で制作した生徒の作品を展示する「中央中博覧会」において、設営や後片付け等の支援をしていただいた。また、作品管理や来場者対応を教職員に代わって担当していただいた。
- ④公民館の文化祭や地域のイベントで吹奏楽部が演奏する機会を設けていただき、楽器の運搬を支援していただいた。



【 正門前剪定作業 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・清掃活動を全校生徒や保護者と一緒に活動することで、地域学校協働本部事業や地域ボランティアのメンバーのことを知ってもらうことができた。また、草刈り機等の機材を持参していただいたので、短時間で効率よく作業が進んだ。
- ・剪定作業を特別支援学級の生徒と一緒に活動することで、作業の仕方を教えてもらいながら地域ボランティアと生徒が近距離でふれあう機会となった。
- ・公民館を会場として「中央中博覧会」を実施することで、多くの保護者や地域の方に鑑賞していただくことができた。また、学区内の小学校へも協力を依頼して6年生児童の書写作品も展示することで、次年度入学予定の児童やその保護者にも中学校の取組を知っていただくことができた。また、美術部が案内ポスターを制作して公民館の広報誌とともに地域に配布したり、入口の看板を制作したりすることで、美術部の活躍の場にもなった。さらに、展示中の管理を教職員に代わって公民館にお任せすることで、教職員の働き方改革につながった。準備や後片付けには、毎年ご協力いただいている地域ボランティアの指示により、スムーズに運搬や会場設営を行うことができた。
- ・地域学校協働本部事業に関わる地域ボランティアの高齢化や固定化が以前からの課題である。新たな人材を見つける必要がある。
- ・地域の協力者を増やして事業の充実を図るため、学校通信や公民館の広報誌などで募集を呼びかけて周知を図るとともに、支援の輪を広げ、支援者の得意分野を学校の教育活動の充実につなげられるようにコーディネートする。



【 中央中博覧会 】

### ■ その他

活動の様子は、校内で写真を掲示して紹介するとともに、学校ホームページにも掲載して周知を図っている。  
 学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/chuo-jh-hikone/>



### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(教頭)

## 豊かな子を育み、地域とつながる学校づくり

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	平田小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：22人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・本年度の学校運営方針について
- ・地域への情報発信、地域・家庭・学校の一体化について
- ・地域の力を子どもたちの教育に生かすことについて
- ・子どもたちに付けていきたい力とそのための取り組み方について

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・「全校ふれあい遠足」における安全指導ボランティア  
 本校の伝統行事である「全校ふれあい遠足」において、学校から彦根城までの行程の安全指導をしていただいた。19名にお手伝いをしていただいたおかげで、道中ならびに彦根城内で、十分な子どもたちの安全確保を行うことができた。



【 ふれあい遠足の様子 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・地域の方との交流だけでなく世代間交流といった視点からすると、たいへん充実した機会となった。ボランティアからは、「子どもたちと一緒に活動することで、私たちも元気をもらっている。」「今後も地域・学校・家庭のつながりを大切にしたい。」等の感想をいただいた。
- ・今後の展望として、メンバーの高齢化や固定化が進んでいるので、本事業の情報を地域に発信(回覧板等)してボランティアの募集を行っていきたい。

### ■ その他

- ・学校運営協議会との協働として、活動の様子を学校ホームページ等で情報発信し、広く活動についての理解や協力を得られるようにしている。



【 学校運営協議会の様子 】

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(PTA担当)

報告書記入者 ( 主幹教諭 )

## 地域の力でつくる子どもたちの豊かな学習活動

彦根市	活動名：中央中学校区地域学校協働本部	金城小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：87人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援、図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 □地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- 地域・保護者ボランティアの取組報告と活動の活性化について
- デジタルセーブや家庭学習についての取組報告
- 各種アンケートの結果報告と今後の方針についての話し合い



【 絵本の広場(地域ボランティアと児童) 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1) 登下校の安全パトロールとあいさつ運動

金城見回り隊の方々、毎日通学路の要所に立ち、あいさつの声掛けやコミュニケーションをとり、子どもたちの安全を見守ってくださっている。

#### (2) 町探検や施設探検の引率支援

1年の学校探検や2、3年の町探検・施設探検で、引率補助をして下さり、目的地が複数箇所にもわたる場合も、安心して探検することができた。

#### (3) 体験活動の支援

1年生生活科や3年生社会科では、学習支援をお願いした。また、5、6年の家庭科のミシンの学習の補助として支援していただいた。

#### (4) 朝の読み聞かせと絵本の広場・図書室の整備

年間を通じて、朝読書の時間に読み聞かせをしていただいた。また、月1回の「絵本の広場」の開催により、子どもたちが本にふれる機会が増えた。作家さんに児童書の寄贈を呼び掛け、図書室の本を新調したり、週1回、環境整備や並行読書の選書等を行ったりしていただいた。

#### (5) 清掃支援(プール清掃含む)や花壇などの環境整備

月2回のペースで校内の清掃をしていただいた。トイレ掃除のグッズ等の寄付を募ることで、たくさんの資源が集まった。また、花壇や畑の耕しや苗植え等にもお手伝いいただいた。



【 児童とともに花壇に苗植え 】

#### (6) 季節や行事に応じた掲示物づくり

季節や行事に合わせて、掲示物を作成し、校内を明るくしたり、話題づくりをしたりして下さった。

### ■ 事業の成果・展望

- 長年読み聞かせをして下さっていた図書ボランティアと熟議することで、できそうなことを模索し、その結果「絵本の広場」が生まれた。地域・保護者・学校がつながった形での開催で、子どもたちや教職員にも好評である。無理のない活動を定期的に続けていくことで大きな成果となった。
- 通学路の見守りをさせていただくことで、子どもの安全確保につながっている。また、登下校の様子など適宜伝えていただくことで、学校だけでは気付かない実態を把握し、即時に指導することにつながった。
- 町探検や施設探検の引率支援をしていただくことで、これまで行くことができる場所に限りがあったが、子どもたちの希望する探検先を増やすことができていく。
- 地域主催の「金城フェスタ」に、特別支援学級が模擬店を出店した。子どもたちの学びとなるとともに、地域の方々とのふれあいが実現し、地域の方も喜んでくださった。
- 学校運営協議会の熟議と、日々のボランティア活動が連動できておらず、どうしても学校が主体になってしまう現状がある。今後は、学校運営協議会の熟議と日々のボランティア活動が連動できるような仕組みを模索していかなければならない。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 彦根南サポートオフィス 14年目の取組 共に助け合う関係づくりをめざして

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	南中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成 23 年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- 学校や地域の「強み」や「弱み」について
- 地域・学校での子どもたちの様子について

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

(1)CS 掲示板(通年)

地域で行われる行事やボランティア活動等の情報を掲示し、生徒が気軽に参加できるきっかけを提供する。

(2)環境整備作業(11月22日)

学校周辺のフェンス際の草刈りや溝掃除、校地内の清掃活動を、地域貢献活動として生徒、保護者・地域の方総勢 80 名で行った。

(3)プランターの花植え(12月11日)

地域学校協働活動推進員の方の指導により、卒業式での活用も見据え、プランターの花植えに取り組んだ。土入れ、苗の植付け、水やりまで、生徒も加わり熱心に取り組んだ。

(4)地域貢献活動(通年)

地域ごとに、生徒が参加できる活動を紹介していただき、生徒たちがボランティアとして参加する地域貢献活動「南中ボランティア」を再開した。



【 環境整備作業 】

■ 事業の成果・展望

- 地域と学校の連携を推進するため、teturu(保護者連絡ツール)や学校ホームページを活用し、情報発信を行ったことで人材確保に努めた。
- 地域学校協働活動推進員と担当教職員が定期的に連絡を取り、情報交換や運営について協議する体制を整えた。
- 推進員のスキル向上に向け、研修情報を随時紹介し、研修機会の確保を行った。
- コミュニティ・スクールとしての効果的な連携のあり方について検討を進めた。
- 環境整備作業への参加が多く、親子ならびに地域における交流が実現した。
- 地域貢献活動「南中ボランティア」を再開し、地域と生徒の関わり場と機会を創出した。
- 活動を充実させるためのボランティア人材確保が課題である。親子での活動や地域の方と生徒が協働する場面を設定することが重要である。
- 地域の大学や企業等との連携・協働を模索しながら事業を推進していく。
- 地域と協働した「防災訓練」の実施計画を進め、非常変災時に共助の視点から行動できるよう、地域・学校・生徒の関係づくりに着手する。



【 プランターの花植え 】

■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/minami-jh-hikone/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## つながりが生み出す豊かな学び

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	城南小学校	学校運営協議会	：	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:45人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育)□地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]						

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・「自尊感情」に係る取組について

子どもたちの自尊感情を高めるための学校の取組について協議した。また、各学級の具体的な取組と振り返りを提示し、さらなる高まりを目指して対話を重ねた。

・城南小学校の子どもたちに付けたい力について

城南小学校の子どもたちの強みと弱みを学校ビジョンに照らし合わせながら確かめた。それらは、登下校時や学校行事等を通して表れており、これまでの取組の成果と今後の課題が明らかになった。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○読書ボランティアによる「読み語り」

朝のさわやかタイムに、各教室で読み語りをしていただいた。毎回、児童の興味・関心をひく本や、季節等に合わせた本を選んでくださり、ボランティアの周囲に集まった児童らは、お話に聞き入り、本の世界に浸っていた。

また、図書室に読み語りで使った本を置くスペースを設けたり、図書室前の掲示板におすすめの本や季節の飾りを掲示したりするなど、児童らが本に親しみやすい環境を整えてくださった。



【 読み語り 】

○社会福祉協議会の方々による「校外学習引率ボランティア」

2年生の生活科や3年生の総合的な学習の時間に地域に出かける際、引率のボランティアをしていただいた。事前に打ち合わせをし、学習のねらいが共有できるようにした。たくさんの方に来ていただき、児童が安全に校外で学習することができた。また、小グループで活動することができ、学習を充実させることができた。



【 引率ボランティア 】

○行事(運動会、音楽会等)の運営補助

教職員の配置が手薄になることが予想されたので、地域の大学生や保護者等にお願ひ、お手伝いいただいた。運動会や音楽会の準備・片付けなどで力を貸していただき、スムーズに運営することができた。特に今年度の音楽会は、150周年記念事業として実施し、地域の方にも多数参加いただいたため、駐輪場での誘導や受付業務等を行っていただき、思い出に残る盛大な会を催すことができた。

### ■ 事業の成果・展望

・児童は、読み語りを毎回楽しみにし、集中して引き込まれるように聞くことができた。読まれた本やおすすめの本の掲示物に興味をもち、自分でも読もうと図書室で借りる児童がいた。また、日頃から読書に関心をもち、意欲的に本を借りて読む児童の姿につながっている。

・今年度も校区内の校外学習の引率にご協力いただき、児童の安全管理においてたいへん助かった。継続して実施することで、連携がとりやすくなっている。学習のさらなる充実に向け、連携した取組を増やしていけるとよい。

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/jyonan-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 □その他( )

報告書記入者 ( 主幹教諭 )

## つなげよう 子どもを育む地域の力～地域の力で学びを深める～

<b>彦根市</b>	活動名：南中学校区地域学校協働本部	<b>城陽小学校</b>	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:60人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・継続的に取り組んでいる地域・保護者・教職員と共に取り組んでいる朝の読み聞かせについて
- ・地域の先人の活動跡を探る総合的な学習の時間の展開
- ・幼・保・小の継続的な連携について
- ・タブレット端末の効果的な取組と保護者と共に考える情報モラルについて



【 朝の読み聞かせ 】

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

○読書活動支援

朝の活動の時間には、読書ボランティアの方々に各学級で絵本の読み聞かせをしていただいている。また、図書環境ボランティア1名が隔週の図書の整理や修繕だけでなく、行事や季節に合わせた図書室内の飾り等を工夫し、子どもたちが読書に親しめるように活動して下さっている。また、「秋のお話会」を学年部ごとに実施し、ひこね児童図書研究グループの方々に、紙芝居や読み語り等をしていただいた。

○第5、6学年 家庭科「レッツ！ソーイング」

5年生は、裁縫セットやミシンを使ってのトートバック製作、6年生は、エプロン製作に取り組んでいる。特に5年生は、初めてのミシン学習であり、使い方を丁寧に指導する必要がある。ここ数年、同じ方がボランティアとして来てくださっていて、子どもがどのようなところにつまずきやすいかをよく把握されている。操作手順を助言し、困っている子どもに声をかけ、熱心に支援していただいた。6年生にも同様に支援していただいた。



【 レッツ！ソーイング 】

■ 事業の成果・展望

- ・朝の読み聞かせは10年間継続されている取組である。子どもたちが朝、落ち着いた気持ちでスタートするにも言語力を育てるにも良い取組である。子どもも読み聞かせを楽しみにしており、絵本や本にいつでもふれられる環境が整っている。今後も地域・保護者・教職員が協働して継続していく。
- ・ボランティアバンクの整理が十分でなかったため、次年度以降に向け利用状況を一覧表に整理している。
- ・子どもたちに地域への誇りや愛着心が育まれるように、生活科や総合的な学習の時間で、地域の方と共に学習を展開する。

■ その他

- ・地域の方と顔を合わせ話し合う機会が増えたことで願いや思いを共有できた。今後も子どもを中心として話し合い、みんなで子どもを守り育てる意識、土壌を育んでいきたい。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## 「子どもたちの笑顔のために」チームわかバンク 10年目の取組

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	若葉小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成28年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：60人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり □地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 ■その他[土曜支援(教室)…第1,3週の土曜日 AM ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・地域学校協働本部(わかバンク)の組織について
- ・年間の活動内容について
- ・育成する児童像について(思いやりの心を育てるために学校・家庭・地域ができること)



【 環境整備部による栽培活動 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### ・命を育む栽培活動

これまでから地域の方にお借りしている畑を学校園として、全学年で栽培活動を進めている。この活動の目的は、子どもたちが苗植えから水やり、草取り等、野菜を育てる過程を大切に、命の尊さ、収穫の喜びを実感することにある。そのため、地域のボランティアさんのご協力をいただいて進めてきた。

今年度も地域学校協働活動推進員との入念な打合せを行い、教育活動の目的に応じた栽培活動(畝立て、苗植え、収穫など)に支援していただくことができた。

#### ・「若葉の森」の環境整備活動

校地内に植えられている 2,000 本を超える樹木は、「若葉の森」として地域の方にも親しまれている。開校当時からこの「若葉の森」の樹木を学習の題材として、生活科・総合的な学習の時間、特別活動等を中心に樹木に関わる学びを深めている。常設の支援(図書・学習・見守り・広報・土曜)に加え、特設の環境整備部により校地内の葉刈りや剪定、花壇の整備等の支援を充実させることができた。今後も自然豊かな環境を維持し、児童の学びにつなげていきたい。

#### ・地域の高校との協働によるプログラミング学習や電気学習

これまでから地域のマスター・ハイスクールである彦根工業高校の建設科と連携を図り、愛校運動の一環として中庭テラスの修繕作業などに取り組んできた。さらに電気科とも連携を広げ、プログラミング学習を実施してきた。高校生からプログラミングについての話を聞き、実際に Scratch を使用してプログラミングに取り組んだ。今後もマスター・ハイスクールとの連携を図り、キャリア教育へとつなげていきたい。



【 彦根工業高校による電気についての学習 】

### ■ 事業の成果・展望

地域学校協働活動推進員を中心に、「学習支援」「図書支援」「見守り支援」「広報支援」「土曜支援」「環境支援」の6つのリーダーが責任をもって進めてくださるため、どの活動も価値ある成果を感じることができた。10年目を迎え、「地域の方」から「わかバンクの方」へと児童の認知度も高まり、児童とのつながりも深まってきている。学校支援メンバーの一部の方に負担がかからないよう、PTAをはじめ、様々な事業所や機関とも連携を深め、長期間を見通した継続性のある活動を進めていきたい。支援メンバーの高齢化に伴い、今後の継続を可能とする組織改編が急務である。保護者への参画を呼びかけ、地域と保護者が協力して子どもの成長を支える活動の充実を進めていきたい。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

## ふるさとを愛し、ふるさに学ぶ「We Love かめやま」

彦根市	活動名：南中学校区地域学校協働本部	亀山小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:30人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 □学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学校の教育活動における地域(郷土学習)や地域人材活用の現状について
- ・学校教育につながる地域人材の発掘・活用について(亀山っ子応援隊の立ち上げ)



【1~3年 サツマイモの栽培】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1)栽培活動支援

毎年、プール横の畑でのさつまいも作りに支援していただいている。苗を植える際のコツや収穫の仕方、土の掘り起こし方を教えていただいた。収穫までの管理について、担任と連携をとりながら、支援いただいたことが、児童の収穫の喜びにつながった。

また、土を耕していただいたり、休日の水やりをしていただいたりと、教職員の負担軽減にもなっている。

#### (2)3年生 総合「亀山っ子探検隊」

学習を進めるにあたって、地域学校協働活動推進員の協力が欠かせない活動となっている。地域ごとに協力してくださる方が、その町の祭りや言い伝え、特色を詳しく教えてくださいました。児童にとって、地域のことをより詳しく学ぶことができるとともに、地域の方と親しくなる機会にもなっている。



【3年生 亀山っ子探検隊】

### ■ 事業の成果・展望

○地域学校協働活動推進員に、学校のニーズに合った人材を紹介していただき、教育活動の充実につながっている。

○ボランティアから様々な支援を受ける中で、児童は、教職員だけでなく地域の様々な方から支えられていることを実感し、進んであいさつをしたり、話しかけたりするなど、自分から関わりを深めることができている。

○地域学校協働活動推進員と連携を取り、ゲストティーチャーやボランティアとの連絡・調整役になっていただいていることが、教職員の負担軽減につながっている。

○今年度、様々な教科や領域の地域ボランティアを発掘するために、地域学校協働活動推進員と相談し「亀山っ子応援隊」を立ち上げた。地域に協力をお願いの案内を回覧したり、呼びかけていただいたりしたことで、地域ボランティアの人材発掘が一定できた。支援内容や日程の調整など課題もあるが、今後も地域の方と力を合わせながら、教育活動を推進していきたい。

### ■ その他

学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/kameyama-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他(各担任)

報告書記入者(教頭)

## 負担にならない、新時代の学校支援を目指して

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	彦根中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:2人 ボランティア登録数:47人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・「地域学校協働活動への保護者の参加が多くなるための方策について」をテーマに熟議を行った。メール配信で呼びかけること、活動後に交流の機会をもてるようにすること、学校行事における駐車券や特別席を返礼品とすること等、多くの意見が出された。
- ・次年度に控えている40周年記念事業に関する行事予定や、地域にも参加いただける場面の検討についても意見の交流を行った。



【花いっぱい運動】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1) 緑のカーテンプロジェクト(取組12年目)

- ・5月上旬に支柱設置、ネット張り、ゴーヤの苗植えを地域ボランティアの指導のもとで実施した。
- ・環境委員会や各部活動および地域ボランティアや保護者ボランティアの方々による水やりを毎日行い、9月下旬に支柱の撤去を行った。
- ・県のCO<sub>2</sub>ネットゼロの活動とも関連付けて取組を実施した。

#### (2) 花いっぱい運動

- ・正面玄関に設置するプランターの花をおよそ3ヶ月ごとに植え替え、常に来校者を花で迎えられるよう、水やりも当番を決め、定期的実施した。

#### (3) 学校行事への支援

- ・入学式や体育大会や合唱コンクールなどの学校行事における駐車場整理での保護者とのつながり。
- ・全校長距離遠足の際の交差点での交通誘導。 ・校地内の葉刈り作業や、愛校作業への参加。
- ・資源回収活動における軽トラックの協力。

### ■ 事業の成果・展望

#### (1) 事業の成果

- ・今年度からボランティア登録制度をスタートし、学校行事・授業や地域学校協働活動に関してのべ60名の方に登録いただいた。自治会組織が弱体化して地域での交流が減る中、地域と生徒とのつながりだけでなく保護者にも多く参加いただくことができた。
- ・緑のカーテンプロジェクトは取組12年目になり、生徒や地域の中で定着している。作業を通じて、自分たちの学校環境を自分たちで良くしていく意識づけになった。
- ・多くの地域ボランティアの方や保護者ボランティアにも多数参加いただき、生徒たちを中心に協働する活動を充実させることができた。

#### (2) 今後の展望

- ・従来からの事業内容は、ほぼ定着してきているが、実施時期や実施方法等の工夫を加え、地域と学校の関係づくりをさらに活発にしていきたい。
- ・今年度、参加していただけるボランティア人数は増えたが、次年度以降も保護者や地域からの参加が増えていくよう、ボランティア登録制度の定着を推進していく。
- ・活動に一度も参加したことのない教職員をゼロにするため、初めて本校勤務となる教職員にも参加を促し、地域との連携を図り、他の活動へとつなげたい。

【ボランティア募集チラシ】

### ■ その他

- ・コミュニティ・スクールも2年目に入り、活動における多くの役割を学校側だけが担うのではなく、学校運営協議会としての活動運営が定着するようになった。地域と保護者とのつながりも深まり、お互いの声かけや地域学校協働活動にもつながってきている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(教頭)

## 見る、聞く、体験する、地域に支えられて育つ「河瀬っ子」

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	河瀬小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

・次年度以降「学校」と「地域」が一緒に活動できることについて話し合った。季節の行事、登下校の見守り、スクール農園、町探検(郷土学習)、環境学習、キャリア教育等、各学年における学習内容にあった取組について話し合った。



【1年生 交通安全教室】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1)「交通安全教室」(1年)

生活科の学習の一つとして、4月に行った。新入生は、登下校に慣れていないので、横断歩道の渡り方や見通しの悪い場所の歩き方など「体験活動」を取り入れて学習に取り組んだ。警察の方や地域で見守ってくださる方も一緒に参加して下さり、安全な歩き方を体験する時間になった。

#### (2)「町探検」(2年)

郷土学習として、広い河瀬学区の町の様子をより深く知る学習となった。河瀬小学校を中心に東西南北に分けて公園や神社、公共施設について実際に行き、見て、聞いて、知る学習となっている。また、見学に行く施設の方の話を聞くことで、施設の役割や働いている人の思いを知ることができた。



【3年生 大豆 播種見学】

#### (3)「大豆はかせになろう」(3年)

今年度から「はたけの子」として、総合的な学習で取り組んだ。1学期は播種見学、2学期はJAの方をゲストティーチャーに招き大豆について知識を深めた。また、枝豆の収穫体験を行い、収穫した枝豆を茹でて実食した。11月末には、大きな機械を使って大豆を収穫している様子について見学した。

### ■ 事業の成果・展望

- ・地域と学校が連携できるように、地域学校協働活動推進員の方を中心に各種団体と連絡を取り合いながら日程や活動内容を計画し、交流を図ることができた。
- ・毎年、年間計画を見直し、昨年度までの協働活動と教科との関連性を踏まえ、また新たに必要な活動が組めるようにカリキュラムマネジメントを行った。
- ・カリキュラムマネジメントを行うことで、教科や学習と関連付けた充実した体験活動を行うことができた。
- ・多くの地域の方に出会ったり、施設を訪れたりすることで、子どもたちが自分たちの住む地域が多くの方によって支えられていることを感じる事ができた。
- ・地域学校協働活動推進員、ボランティアとともに高齢化が進んでいる。今後も継続して支援活動を取り組めるように、新しい支援活動の計画や新たな人材発掘が重要である。

### ■ その他

活動の様子を各クラスの通信や学校ホームページにて紹介している。  
 学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/kawase-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 地域に学び、人に学び、つながりに学ぶ

彦根市	活動名：彦根中学校区地域学校協働本部	高宮小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成23年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:80人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

本校が大切にしている「一人ひとりが大切にされる高宮小学校、一人ひとりを大切にす  
る高宮小学校」にするために、学校としてできること、保護者・地域としてできることにつ  
いて協議した。



【 読み聞かせ活動 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1) 読み聞かせ活動(毎週火曜日に地域の方による読み聞かせの取組)

・火曜日の朝の読み聞かせの時間を子どもたちは、とても楽しみにしている。ボランティ  
アの方も、教室に来て始まるまでの時間に子どもたちにやさしく声をかけ、とても親し  
みを込めて接してくださっている。読み聞かせでは、子どもたちの発達段階や時期に考慮し  
て本を選んでくださり、10分間の短い時間ではあるが、子どもたちと地域の方をつなぐ、  
とても意義のある時間となっている。

#### (2) 各学年の学習支援(総合的な学習の時間のゲストティーチャー・郷土学習の充実にか かる支援)

・3年生の総合的な学習の時間に、「高宮町のすてき発見」という学習で、地域のカル  
タ「高宮カルタ」から高宮学区の歴史等について学ぶ学習を行っている。その  
際、ゲストティーチャーとして、地域に住まわれている方に幼少期の地域の様子を  
話していただいたり、高宮の歴史を詳しく調べておられる「高宮歴史研究会」の方  
にお話をいただいたりした。子どもたちは、自分たちの住んでいる地域に歴  
史的な建造物があり、それを地域の人たちが長年受け継いで残してきていること  
等を熱心に聞いていた。



【 総合的な学習の時間(郷土学習) 】

### ■ 事業の成果・展望

・本校は、大きな新しい団地に住んでいる子どもや、旧の字に住んでいても核家族の子ども等が多く、地域の歴史はもとより伝統  
文化や行事等を知らない子どもが増えている。住民同士のつながりも希薄になってきていることから、地域住民の多くの方々は  
子どもたちが交流を通して地域文化に親しみ、伝統を受け継いでいこうとする姿にたいへん喜んでくださっている。とても協力的  
に活動に参加してくださっている。また、子どもたちも地域の方との交流から、地域の誇れる文化を学ぶことができるので、  
意欲的に学習に向かう姿が見られた。

・子どもたちだけではなく、保護者、教職員も地域学校協働活動推進員や地域の方々とのつながりが薄い状態にある。また、教職  
員の中には、担当学年以外の活動を知らない者も多く、高宮の歴史や文化等の誇れる部分について話せる者は多くない現状があ  
る。保護者(PTA役員)や教職員が入れ替わっていくことで、本事業の継続的な取組が脈々と受け継がれていくことが難しくな  
っていく。そこで、学校運営協議会の場を活用し、学校の現状や地域社会に学校が求める内容をしっかりと伝え、多くの協力を  
積極的に求めていることを発信していくことが必要である。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 地域と学校を結ぶ鳥居本学園の協働活動

彦根市	活動名：鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成22年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：30人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

○小中一貫校として10周年を迎えたが、実績や評価について総括できていない。一定の評価をした上で、市小中学校適正規模・適正配置基本方針による次の段階に進んでいただきたい。

○学校の課題を解決するために、今後も地域や市教育委員会とともに考えていきたい。



【 男鬼森林学習 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### (1)男鬼森林学習

学区有林(財産区共有山林)の森林整備作業について学習し、植樹や間伐作業などを実際に体験した。森林の保全と有効な活用との調和について理解することができた。

#### (2)地域との連携

夏季休業中、中学校の芝生グラウンドの水やりを実施していただいた。学区文化祭において、吹奏楽部の演奏および、書写や美術作品、総合学習新聞等を展示した。中学校のキャラクター「さんあかレンジャー」やボランティアの生徒が文化祭の役員として参加した。今年度から全校合唱を取り入れ、地域住民の前で披露した。また、宿場まつりでは、ボランティア部がブースを出店し、部活動で作成したものを販売した。さらに、学区の運動会に中学生が役員として活躍した。

### ■ 事業の成果・展望

○地域の行事に中学生が参加していく活動があることは、地域と中学生(中学校)がお互いに支え、支えられるという関係づくりにおいて効果があると考えられる。特に、中学生の活動を実際に発信して、地域の方に見てもらおうことが、生徒の励みになっている。また、地域の方も中学生の活動を見て、頼もしく思ったり、身近に感じたりし、これからの地域の担い手としての期待感をもたれている。



【 学区文化祭 全校合唱 】

### ■ その他

○学校・家庭・地域の交流が深まることにより、相互の信頼関係が強化され、地域ぐるみで子育てをして地域の活性化を目指し、今後の活動にもつながるよう、改善に努めていきたい。また、男鬼森林学習の継続・発展的な運営や、「さんあかレンジャー」のさらなる活躍の場を考えていくことが大切だと考えている。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 教頭 )

「ふるさとと共に生きる喜びを」～地域と共に～

彦根市	活動名：鳥居本中学校区地域学校協働本部	鳥居本小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 21 年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：50 人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]		

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

○5、6年生家庭科 ミシンでソーイング

10月に、5、6年生の家庭科で、ミシン学習の支援をしていただいた。5年生は、初めてミシンを使う児童が多く、ミシンそのものの扱いに慣れていないため、ミシンが止まったり、糸が絡まったりした時に、友だち同士では解決できないことも丁寧に教えていただいた。ミシン縫いの楽しさを味わいながら、5年生はエプロン、6年生はナップサックを全員仕上げることができ、生活に役立つ物を作る喜びを感じ、豊かな関わりの中、一人ひとりが自信をつけることができた。



【 たてわりウォークラリーの様子 】

○読み聞かせ活動・図書室環境整備

地域・保護者の方に、図書室の本の整理や新刊図書の紹介、年中行事にあわせた掲示物の更新等をしていただいている。また、毎月1回(水曜日8時 15 分～8時 30 分)、約 10 名の方が学級毎の読み聞かせをしてくださっている。子どもたちは読み聞かせを楽しみにしており、読書意欲の高揚につながっている。本の内容や発達段階に応じて様々な工夫を凝らしていただいている。子どもたちの豊かな心の育成につながっている。

■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ①子どもの主体的な力を育むための工夫として、地域学校協働活動推進員と年度当初や年度途中等に定期的に相談をし、具体的な子どもの活動をイメージした上で、成功体験を積み重ね、自信につながるよう、参加者の人数を検討しながら学習を実施した。
- ②新たな地域人材の発掘やつながりづくりのための工夫として、地域の方に具体的な学習活動を伝え、どのような活動時に何名の協力者が必要か等、具体的なことを相談し、地域の方から新たな方を紹介していただいた。



【 家庭科の支援 】

■ 事業の成果・展望

今年度の学園運営協議会では、SWOT 分析を実施し、本学園の強みと弱みを共有することができた。その中で、「地域の学習材が豊富(歴史遺産・神社仏閣)」であることが外部環境の強みとして挙げられている一方で「リーダー性の育成」が内部環境の弱みとして挙げられた。

今後の本活動については、強みである豊富な地域人材や学習材を生かし、そこに子どもたちのリーダー性を育む活動を取り入れていきたい。そのためには、子どもたちが主体的に地域の学習材に関わっていけることが重要だと考えることから、学校と地域が学園運営協議会を通して話し合い、よりよい活動になるように協力していきたい。

■ その他

小中学校の様子をお知らせ

鳥居本学園ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/torimoto-hikone/>

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担任)

報告書記入者(教頭)

## 地域のみらいにつなぐ学校支援

彦根市	活動名：稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印          開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：7人  <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援  <input type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/>学びによるまちづくり  <input type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/>ボランティア・体験活動  <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/>その他[ 地域連携活動事務局 ]</p>			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・学校美化活動(5月23日)  
 昨年度の学校運営協議会で計画したことを実施。  
 生徒・保護者・地域ボランティアで学校及び周辺の除草作業。
- ・グラウンドフェンスにイルミネーションを設置。  
 生徒会の提案、全校生徒の投票でデザインを決定。青少年育成協議会、青少年指導員会等が設置を支援。



【 学校美化活動 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・6月27日第2回学校運営協議会に、稲枝中学校生徒会執行部、稲枝商工会会長に参加いただき、「若者が考える今後の稲枝」をテーマに熟議を行った。それぞれの立場から稲枝を盛り上げたいというアイデアが出された。
- ・稲枝駅前美化を目的としたプランターへの植栽と管理(通年)  
 青少年育成協議会主催。生徒たちがボランティアとして参加し、地域の方々と話をしながら作業を進めた。



【 イルミネーション設置 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・短時間ではあったが、親や教職員以外の大人と触れ合う貴重な時間となった。
- ・学校整備活動で参加いただいた中に造園業の方がいたので、剪定作業をしながら講習もしていただき、多くの参加者に喜んでいただけた。
- ・イルミネーション設置については、生徒会活動の活性化の一助となり、生徒たちも生き生きと活動できた。

### ■ その他

- ・特別支援学級の生徒が生活単元学習で行う農園の管理、指導。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( 特別支援学級担任 )

## 子どもたちの学びを豊かにする地域支援活動

彦根市	活動名：稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<b>地域学校協働本部概要</b> 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：55人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

- ・「地域の力をどう子どもたちの教育に生かすのか」、また、「地域の方々にとってやりがいのある活動とは」を議題に、それぞれの支援・関係団体で取り組める活動を模索した。
- ・学校活動への積極的な交流を目指し、ボランティア募集のチラシ配布や学校連絡アプリの活用を図りながら、保護者や地域の方への周知を行った。



【 朝の「読み語り」 】

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

- ・読書に親しむ子どもを育成する朝の「読み語り」、図書室の環境整備  
地域の「読み語りボランティア」7名の皆さんに、木曜朝のすこやかタイムに読み語りをしていただいた。また、子どもたちがいろいろな本を手に取りやすいように、図書室の環境整備も進めていただくことで、図書室の学習環境が充実し、子どもたちの豊かな心の育成につなげることができた。
- ・夢を実現された本校卒業生から学ぶ「教育講演会」  
本校卒業生で地域でも活躍されている松山さんをお迎えし、全校児童を対象に「夢をかなえて～届け！先輩からのメッセージ～」と題して、体験談や在校生へのメッセージについて講演いただいた。夢を実現させるためには、夢ややりたい姿など明確なビジョンを持つことや、普段の生活の中でできることをしっかりとすることなどを熱く語っていただき、改めて夢に向かって努力することの大切さを感じることができた。



【 「夢をかなえて～届け！先輩からのメッセージ～」 】

### ■ 事業の成果・展望

- ・「読み語りボランティア」の皆さんは、本校だけでなく校区内の幼稚園や中学校にも行ってくださっている。学年に応じた本を選定し、子どもたちも安心してお話の世界に浸ることができ、本好きの子どもが育っている。
- ・地域人材を活用した学習や活動について、お世話になった方の所属や名前、活用した教科、内容等を記録に残し、次年度以降に活用できるようにしている。
- ・学校として年間を通してどのような取組をしていくのか、またどのような人材を求めているのかなどを積極的に発信して、子どもたちの学びをより豊かにするとともに、地域の方々にとってもやりがいのある事業を展開していく必要があると考える。
- ・学校運営協議会で熟議された事項を充実させ、「地域とともにある学校づくり」を進めていきたい。

### ■ その他

本校の取組は、日々の学校生活の様子と併せて学校のホームページにて紹介。  
学校ホームページ <https://www.fureai-cloud.jp/inaehigashi-hikone/>

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者( 地域連携担当教職員 )

## 「ALL はえみ」地域とともに、学びの充実をめざして

彦根市	活動名：稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝西小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成20年度 地域学校協働活動活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：45人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

単級のため、交流や体験を充実していきたい。異学年交流や稲枝の3小学校の交流、保育園との交流等、体験を通して他者とつながる力をつけてほしい。また地域を通じた学習により、稲枝の良さを知ってほしい。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

毎年地域のフラワーサポーターと高学年の子どもたちが一緒に花壇づくりに取り組んでいる。メイン花壇だけでなく、サブ花壇や中庭、昇降口等四季折々の花に囲まれている。花の植え替えや、水やり等、地域の方と共に活動に取り組むことができた。花の栽培活動を通して、命の大切さや思いやりの心を育むことにつながった。

各学年の学習内容に応じて、地域の方々から話を聞いたり、一緒に体験したりする学習活動を行った。低学年では地域の神社や商店に出かけて話を聞いたり、見学をしたりした。中学年では保護者にゲストティーチャーとして来校いただき、紙飛行機や革細工、人形劇を使った学習をした。高学年では近所の田んぼで田植え体験やニゴロブナの放流体験を行った。



【メイン花壇づくり】

### ■ 実施に当たっての工夫

フラワーサポーターとの花壇作りでは、地域学校協働活動推進員と事前に年間のおよその活動計画を共有することで、見通しをもって取り組むことができた。夏休みの花壇の水やりボランティアを地域の方や保護者に募集し、たくさんの方に参加していただくことができた。また、委員会活動の時間にフラワーサポーターと一緒に活動し、子どもが始めの言葉や感謝の気持ちを伝えることで地域とのつながりを感じることができた。

各学年の体験学習では、事前に子どもや担当教職員の思いを地域学校協働活動推進員に伝えることで、ニーズに応じたサポートをしていただくことができた。



【名人・達人に学ぼう】

### ■ 事業の成果・展望

フラワーサポーターと一緒に種まきや植え替えなど花壇作りに取り組むことで、地域や学校での出来事について作業をしながら、自然と交流する場面が見られた。また、学校の花壇は地域の人々にとっても大切な花壇であるという意識が高まり、今後も大切にしていきたいという伝統意識の育成にもつながった。フラワーサポーターと活動する際には、代表の児童が始めの言葉やお礼を伝えることで、主体的に活動することができた。

地域学習等で話を聞いた際には、実物に触れたり、体験を交えた話を聞いたりすることができた。今と昔を比べることで、町の様子や生活の仕方、暮らしやすさなど時代によって変化してきたものや、何十年も変わらず大切にされてきている場所や思いに気づくことができた。

### ■ その他

学校運営協議会は、今年度から年間4回となり、第1回目は学校から学校経営方針の説明をし、交流した。2回目は1学期のアンケート結果(子ども、保護者、教職員)をもとに、子どもたちの姿や学校のあり方についてご意見をいただいた。3回目は、2学期のアンケート結果をもとに2回目と同様に協議し、4回目は今年度のまとめと来年度に向けての課題を話し合う予定である。

実際の活動写真や動画等を示しながら説明することで、子どもの様子や活動内容がよく伝わり、より具体的な内容について交流することができた。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(担当教職員)

報告書記入者(地域連携担当教職員)

## ふるさとに誇りをもち、未来にたくましく生きる子どもの育成

彦根市	活動名： 稲枝中学校区地域学校協働本部	稲枝北小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度:平成 20 年度 地域学校協働活動活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:165 人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他( )

### ■ 学校運営協議会での主な協議内容と活動への反映

子ども・家庭・地域・学校がどうつながりあって教育活動ができるのかを考えた。学校評価の結果から「自分に自信をもてる子どもを育てるために」をテーマにして、学校・家庭・地域でできることは何かについてグループ別で話し合った。子どもができるようになったことを認めほめること、できるようになった過程を分かりやすく伝えることなどが自信につながっていくということを共通認識した。

### ■ 「つながるよさ」を生み出した活動(特徴的な活動)

#### ○栽培活動支援

5月に、地域の方へお願いし、栽培活動で使用する学年の畑の整備をしていただいている。今年度は、特別支援学級、1年生、2年生が栽培するサツマイモ畑を子どもたちと一緒に整備していただいた。そのおかげで立派なサツマイモを多く収穫でき、秋に焼き芋パーティーを開くことができた。特別支援学級では、学校運営協議会の方に販売する体験をもつことができた。



【栽培活動(さつまいもの苗植え)】

#### ○稲村かるたオリエンテーリング

10月に全校で、「稲村かるたオリエンテーリング」を行った。本年度は、上岡部町、田原町、出路町方面に出かけた。創立100周年記念に作られた「稲村かるた」に掲載されている寺院や史跡を、ボランティアや保護者とともに訪れ、建物を見学したり、地域の方やお寺のご住職から話を聞いたりして、豊かな歴史を肌で感じ取り、ふるさと「いなむら」を誇りに思う心をさらに高めることができた。

### ■ 事業の成果・展望

#### ○子どもたちの安心のために

・毎年、同じ事業で同じ地域のボランティアの方に支援していただいていることで、子どもたちは安心して地域の方と関わることができている。「身近な地域の人に教えてもらった」という意識をよリモつことができ、地域への愛着も深まっているように見える。「学校のために、子どもたちのために地域の方が支援してくださっていること」を、教職員が子どもたちに伝えることで、感謝の気持ちをもって地域の方に接している。  
 ・「稲枝北小学校のために！」と思ってくださる地域の方は多いが、ボランティアの高齢化が進んでいる。新しいボランティアの方の加入を積極的に進め、人材確保に努めている。



【稲村かるたオリエンテーリング】

### ■ その他

本校は、地域の方から様々な支援をいただいて教育活動を進めている。学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域学校協働活動の一体的推進に向けて、学校と地域でより良い活動を今後も模索していきたい。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他( )

報告書記入者(教頭)